

＜ガリラヤから始まる＞

ヨハネ 21 : 1 ~ 14

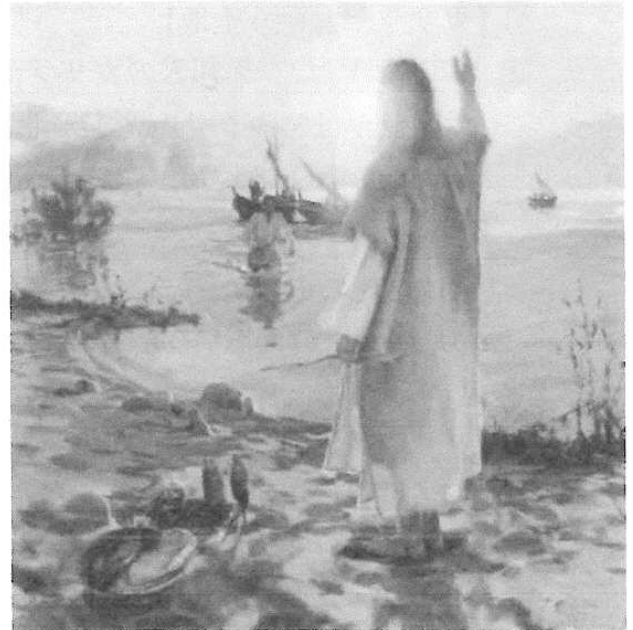
お墓を尋ねた女性たちにイエス様が命じられた。
「恐れることはない。行って兄弟たちに、ガリラヤに行け、
そこでわたしに会えるであろう、と告げなさい」

(マタイ 28:10)

「わたしは漁に行く」

「私たちもいっしょに行きましょう。」

ガリラヤに戻り、以前と同じ漁師に戻ろうかと
考えていた様子。慣れ親しんだ生活に戻ろうと
していた。



戻って漁に出た。見慣れた景色、慣れた作業。けれど以前と同じではなかった。
ガリラヤからすべてが始まった。ここは、彼らの信仰の原点。

彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。夜が明けそめたとき、イエスは
岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。【3、4節】

イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網を
おろした。すると、おびたしい魚のために、網を引き上げることができなかった。【6節】

3年前に体験したのと同じ奇蹟？ 復活の後も同じことが起こった。

弟子達はこの場所での出来事を鮮明に思いだした。

弟子達は信仰のスタート地点、信仰の原点にもう一度目を向けることになった。

弟子達にとって、新しい出発につながっていった。

復活されたイエス様、栄光を取られたイエス様と共に歩むという出発。

イエス様は、このガリラヤ湖で弟子たちに再出発の機会を与えてくださった。

なぜ、ガリラヤだったのか？

- ①弟子たちの故郷。彼らの生活にある働きの間。
- ②イエス様と弟子たちの故郷は「ガリラヤ」だった。
- ③みことばで養われ、一緒に過ごした思い出がぎっしり詰まった場所。

【ガリラヤという土地】

ガリラヤは、「異邦人のガリラヤ」といわれ、異邦人が多く住む場所。ガリラヤはアッシリヤ帝国が北イスラエルを滅亡させたとき以来、約700年近くユダヤ人による統治ができなかった。ユダヤ政治外におかれていた。

しかし、苦しみのあった所に、やみがなくなる。先にはゼブルンの地とナフタリの地は、はずかしめを受けたが、後には海沿いの道、ヨルダン川のかなた、異邦人のガリラヤは光栄を受けた。イザヤ9：1

ガリラヤは疎外され軽蔑され、当時ユダヤ人は結婚相手をガリラヤから選ぶことはしなかった。しかしイエス様は、このガリラヤから弟子達を選ばれた。

ガリラヤでイエス・キリストは福音を語り、宣教し、復活後のご自身を現わした。そして、ここから全世界へと弟子達を遣わされた！

11人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した……。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

マタイ28：16～20